

# 安全データシート

## 硫酸リチウム＝ドデシル

改訂日: 2024-01-24 版番号: 1

### 1. 化学品及び会社情報

#### 製品識別子

製品名 : 硫酸リチウム＝ドデシル  
CB番号 : CB0150488  
CAS : 2044-56-6  
EINECS番号 : 218-058-2

#### 物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

関連する特定用途 : 研究開発用途にのみ使用。医薬品、家庭用品、その他の用途には使用しないでください。  
推奨されない用途 : なし

#### 会社ID

会社名 : Chemicalbook  
住所 : 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟  
電話 : 400-158-6606

### 2. 危険有害性の要約

#### 2.1 GHS分類

このセクションで言及された H-ステートメントの全文は、セクション 16 を参照する。

水生環境有害性 短期（急性）（区分2）, H401  
特定標的臓器毒性（単回ばく露）（区分3）, 気道刺激性, H335  
眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性（区分1）, H318  
皮膚腐食性 / 刺激性（区分2）, H315  
急性毒性, 経口（区分4）, H302  
可燃性固体（区分1）, H228  
水生環境有害性 長期（慢性）（区分3）, H412

#### 2.2 注意書きも含む GHSラベル要素

##### 絵表示

GHS02	GHS05	GHS07

##### 注意喚起語

危険

## 危険有害性情報

H401 水生生物に毒性。

H335 呼吸器への刺激のおそれ。

H318 重篤な眼の損傷。

H412 長期継続的影響によって水生生物に有害。

H315 皮膚刺激。

H302 飲み込むと有害。

H228 可燃性固体。

## 注意書き

### 安全対策

P210 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

P261 粉じん / 煙 / ガス / ミスト / 蒸気 / スプレートの吸入を避けること。

P241 防爆型の【電気機器 / 換気装置 / 照明機器 / 機器】を使用すること。

P280 保護手袋 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。

P273 環境への放出を避けること。

P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。

P240 容器を接地しアースをとること。

### 応急措置

P332 + P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察 / 手当てを受けること。

P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P304 + P340 + P312 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。

P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。

P301 + P312 + P330 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。

### 保管

P405 施錠して保管すること。

P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

### 廃棄

P501 内容物 / 容器を承認された処理施設に廃棄すること。

## 2.3 他の危険有害性

なし

---

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 化学物質
別名	: Dodecyl lithium sulfate Dodecyl sulfatelithium salt Lauryl sulfate lithium salt Lithium lauryl sulfate
化学特性(示性式、構造式 等)	: C <sub>12</sub> H <sub>25</sub> LiO <sub>4</sub> S
分子量	: 272.33 g/mol

CAS番号 : 2044-56-6  
EC番号 : 218-058-2  
化審法官報公示番号 : 2-3045; 8-606  
安衛法官報公示番号 :-

---

## 4. 応急措置

### 4.1 必要な応急手当

#### 一般的アドバイス

この安全データシートを担当医に見せる。

#### 吸入した場合

吸入後は新鮮な空気を吸うこと。

#### 皮膚に付着した場合

皮膚に接触した場合: すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

#### 眼に入った場合

眼に触れた後は多量の水ですすぐこと。ただちに眼科医の診察を受けること。コンタクトレンズをはずす。

#### 飲み込んだ場合

飲み込んだ後はただちに水を飲ませること(多くても2杯) 医師に相談する。

### 4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

もっとも重要な既知の徴候と症状は、ラベル表示(項目2.2を参照)および/または項目11に記載されている

### 4.3 緊急治療及び必要とされる特別処置の指示

データなし

---

## 5. 火災時の措置

### 5.1 消火剤

#### 使ってはならない消火剤

本物質/混合物に対する消火剤の制限なし

#### 適切な消火剤

水 泡 二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 粉末

### 5.2 特有の危険有害性

可燃性。

酸化リチウム

硫黄酸化物

炭素酸化物

火災時に有害な燃焼ガスや蒸気を生じるおそれあり。

### 5.3 消防士へのアドバイス

自給式呼吸器がある場合のみ危険区域に留まってもよい。安全なゾーンまで離れるか適切な保護衣を着用して、皮膚に触れないようにするこ

と。

## 5.4 詳細情報

ガス / 蒸気 / ミストを水スプレージェットで抑える（除去する）。消火水が、地上水または地下水のシステムを汚染しないようにする。

---

## 6. 漏出時の措置

### 6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

救急隊員以外への助言: ほこりを吸い込まないこと。触れないようにすること。十分な換気を確認する。熱や発火源から遠ざける。危険なエリアから避難し、緊急時手順に従い、専門家に相談のこと個人保護については項目 8 を参照する。

### 6.2 環境に対する注意事項

物質が排水施設に流れ込まないようにする。爆発のおそれ。

### 6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

排水溝に蓋をすること。こぼれたら集めて結合させ、ポンプですくい取る。物質の制限があれば順守のこと（セクション 7、10参照）乾燥剤で処置すること。正しく廃棄すること。関係エリアを清掃のこと。ほこりを生じないようにすること。

### 6.4 参照すべき他の項目

廃棄はセクション13を参照。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 7.1 安全な取扱いのための予防措置

#### 火災及び爆発の予防

炎、熱および発火源から遠ざける。静電気放電に対する予防措置を講ずること。

#### 衛生対策

汚した衣類はただちに替えること。予防的な皮膚保護を講じること。本物質を取り扱った後は手と顔を洗うこと。注意事項は項目2.2を参照。

### 7.2 配合禁忌等を踏まえた保管条件

#### 保管条件

密閉のこと。熱や発火源から遠ざける。

### 7.3 特定の最終用途

項目1.2に記載されている用途以外には、その他の特定の用途が定められていない

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 8.1 管理濃度

#### コンポーネント別作業環境測定パラメータ

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

## 8.2 曝露防止

### 適切な技術的管理

汚した衣類はただちに替えること。予防的な皮膚保護を講じること。本物質を取り扱った後は手と顔を洗うこと。

### 保護具

#### 眼 / 顔面の保護

NIOSH (US) または EN 166 (EU) などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた眼の保護具を使用する。密着性の高い安全ゴーグル

#### 身体の保護

難燃静電気保護服。

#### 呼吸用保護具

ほこりが生じた際に必要。

次の規格に準拠しているフィルター式呼吸器保護具を推奨します。DIN EN 143、DIN 14387および使用済み呼吸器保護システムに関連する他の付属規格。

#### 環境暴露の制御

物質が排水施設に流れ込まないようにする。爆発のおそれ。

## 9. 物理的及び化学的性質

### Information on basic physicochemical properties

外観	形状: 固体
臭い	データなし
臭いのしきい(閾)値	データなし
pH	データなし
融点 / 凝固点	融点/ 範囲: 100 - 123 °C - OECD 試験ガイドライン 102
沸点, 初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
蒸発速度	データなし
可燃性(固体、気体)	この製品はGHS区分1の可燃性固体である。 - 引火性(固体)
引火上限/下限または爆発限界	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重	データなし
水溶性	350 g/ml at 20 °C - OECD 試験ガイドライン 105
n-オクタノール / 水分配係数 (log 値)	データなし
自然発火温度	366 °C- 固体の自然発火相対温度
分解温度	約165 °C -
粘度	動粘度(動粘性率): データなし 粘度(粘性率): データなし
爆発特性	データなし
酸化特性	データなし
データなし	

## 9.2 その他の安全情報

データなし

---

## 10. 安定性及び反応性

### 10.1 反応性

可燃性有機物質及び製剤に概ね該当：微細に分散し、舞い上がった場合、粉じん爆発を起こす可能性が通常想定される。

### 10.2 化学的安定性

標準的な大気条件(室温)で化学的に安定。

### 10.3 危険有害反応可能性

データなし

### 10.4 避けるべき条件

情報なし

### 10.5 混触危険物質

データなし

### 10.6 危険有害な分解生成物

火災の場合:項目5を参照

---

## 11. 有害性情報

### 11.1 毒性情報

#### 急性毒性

LD50 経口 - ラット - メス - 977 mg/kg

備考: 値は以下の物質と同様に得られる。ドデシル硫酸ナトリウム

LD50 経皮 - ウサギ - オスおよびメス - > 2,000 mg/kg

備考: 値は以下の物質と同様に得られる。ドデシル硫酸ナトリウム

(OECD 試験ガイドライン 402)

症状: 粘膜の炎症, 咳, 息切れ, おそれのある障害:, 気管の損傷

症状: 口腔、咽頭、食道、消化管の粘膜の刺激。

(OECD 試験ガイドライン 401)

#### 皮膚腐食性 / 刺激性

備考: 値は以下の物質と同様に得られる。ドデシル硫酸ナトリウム

(OECD 試験ガイドライン 404)

結果: 刺激

皮膚 - ウサギ

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性

備考: 値は以下の物質と同様に得られる。ドデシル硫酸ナトリウム

(OECD 試験ガイドライン 405)

結果: 眼に対する不可逆的影響

眼 - ウサギ

#### 呼吸器感作性又は皮膚感作性

値は以下の物質と同様に得られる。ドデシル硫酸ナトリウム

備考: (IUCLID)

結果: 陰性

マキシマイゼーション試験

#### 生殖細胞変異原性

胞試験)

備考: 値は以下の物質と同様に得られる。ドデシル硫酸ナトリウム発がん性

結果: 陰性

備考: 値は以下の物質と同様に得られる。ドデシル硫酸ナトリウム試験タイプ: 変異原性(ほ乳類での細

データなし

方法: OECD 試験ガイドライン 476

代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在

テストシステム: *Salmonella typhimurium*

試験タイプ: Ames 試験

テストシステム: Mouse lymphoma test

結果: 陰性

方法: OECD 試験ガイドライン 471

#### 生殖毒性

データなし

呼吸器への刺激のおそれ。 - 呼吸器系

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

データなし

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

#### 誤えん有害性

データなし

## 11.2 追加情報

毒性量の吸収後

十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。

その他の危険な特徴を除外してはならない。

倦怠感

化学的、物理的および毒性学的性質の研究は不十分と考えられる。

響が起こる可能性がある。

ウムイオンへの反復暴露の結果、下痢、嘔吐および振せん、クローヌス、過活動反射のような神経筋影  
明瞭化、眼の霞み、感覚消失、運動失調および痙攣などの中枢神経系影響が起こる可能性がある。リチ  
大量のリチウムイオンは、めまいおよび虚脱の原因となっており、ナトリウム塩摂取に限定すれば、腎  
血管拡張

臓障害を起こすことがある。脱水、体重減少、皮膚障害および甲状腺障害が報告されている。言語の不

## 12. 環境影響情報

### 12.1 生態毒性

#### 魚毒性

流水式試験 LC50 - *Pimephales promelas* (ファットヘッドミノウ) - 29 mg/l - 96 h

(OECD 試験ガイドライン 203)

備考: 値は以下の物質と同様に得られる。ドデシル硫酸ナトリウム

ミジンコ等の水生無脊椎動物

EC0 - *Entosiphon sulcatum* - 40 mg/l - 72 h

#### 脊椎動物に対する毒性

備考: (Lit.)

値は以下の物質と同様に得られる。ドデシル硫酸ナトリウム

EC50 - *Daphnia magna* (オオミジンコ) - 6 mg/l - 48 h

備考: (IUCLID)

値は以下の物質と同様に得られる。ドデシル硫酸ナトリウム

#### 藻類に対する毒性

止水式試験 EC50 - *Desmodesmus subspicatus* (緑藻) - 53 mg/l - 72 h

(DIN (ドイツ工業規格) 38412)

備考: 値は以下の物質と同様に得られる。ドデシル硫酸ナトリウム

#### 微生物毒性

EC50 - 活性汚泥 - 130 mg/l - 3 h

(OECD 試験ガイドライン 209)

備考: 値は以下の物質と同様に得られる。ドデシル硫酸ナトリウム

### 12.2 残留性・分解性

#### 生分解性

好気性 - 曝露時間 28 d

結果: 95 % - 易分解性。

(OECD テスト ガイドライン 301B)

備考: 値は以下の物質と同様に得られる。ドデシル硫酸ナトリウム

#### BOD/ThBOD比

99 %

備考: (Lit.)

### 12.3 生体蓄積性

データなし

### 12.4 土壌中の移動性

データなし

### 12.5 PBT および vPvB の評価結果

化学物質安全性評価が必要ではない/行っていないため、PBT/vPvB評価データはない。



---

## 13. 廃棄上の注意

### 13.1 廃棄物処理方法

#### 製品

内容及び容器は、関連法規及び各自治体の条例等の規制に従い、産業廃棄物として適切に処理すること。

---

## 14. 輸送上の注意

### 14.1 国連番号

ADR/RID（陸上規制）：1325 IMDG（海上規制）：1325 IATA-DGR（航空規制）：1325

### 14.2 国連輸送名

IATA-DGR（航空規制）：Flammable solid, organic, n.o.s. (lithium dodecyl sulphate)

IMDG（海上規制）：FLAMMABLE SOLID, ORGANIC, N.O.S. (lithium dodecyl sulphate)

ADR/RID（陸上規制）：FLAMMABLE SOLID, ORGANIC, N.O.S. (ドデシル硫酸リチウム)

### 14.3 輸送危険有害性クラス

ADR/RID（陸上規制）：4.1 IMDG（海上規制）：4.1 IATA-DGR（航空規制）：4.1

### 14.4 容器等級

ADR/RID（陸上規制）：II IMDG（海上規制）：II IATA-DGR（航空規制）：II

### 14.5 環境危険有害性

非該当

ADR/RID: 非該当 IMDG 海洋汚染物質(該当・非該当): IATA-DGR（航空規制）：非該当

### 14.6 特別の安全対策

なし

### 14.7 混触危険物質

---

## 15. 適用法令

### 15.1 物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

#### 国内適用法令

##### 消防法:

危険物に該当しない。

##### 毒物及び劇物取締法:

非該当

##### 労働安全衛生法

特定化学物質障害予防規則:

非該当

有機溶剤中毒予防規則:

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物:

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物:

非該当

化学物質排出把握管理促進法:

非該当

---

## 16. その他の情報

### 略語と頭字語

EC50: 有効濃度 50%

IMDG: 国際海上危険物

STEL: 短期暴露限度

TWA: 時間加重平均

RID: 鉄道による危険物の国際運送に関する規則

LD50: 致死量 50%

LC50: 致死濃度 50%

IATA: 国際航空運送協会

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

### 参考文献

- 【1】労働安全衛生法 ウェブサイト <https://www.mhlw.go.jp>
- 【2】化学物質審査規制法（化審法） <https://www.env.go.jp>
- 【3】化学物質排出把握管理促進法（PRTR法） <https://www.chemicoco.env.go.jp>
- 【4】NITE化学物質総合情報提供システム（NITE-CHRIP） <https://www.nite.go.jp/>
- 【5】カメオケミカルズ公式サイト <http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple>
- 【6】ChemIDplus、ウェブサイト <http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp>
- 【7】ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト <https://echa.europa.eu/>
- 【8】eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイト <http://www.echemportal.org/echemportal/index?>  
pageID=0&request\_locale=en
- 【9】ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイト <http://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg>
- 【10】有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイト <http://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp>
- 【11】HSDB - 有害物質データバンク、ウェブサイト <https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm>
- 【12】IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト <http://www.iarc.fr/>
- 【13】IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイト <http://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home>
- 【14】Sigma-Aldrich、ウェブサイト <https://www.sigmaaldrich.com/>

### 免責事項:

本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本SDSの適用

性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。